



バラの会
本田 みえ 議員

問 からゆきさんの歴史的認識について

Q 広報誌に記載された天如塔の記述の中で、からゆきさんについて「出稼ぎ労働者」と記載されていたが、歴史的認識に問題ないのか。

A 明治から大正にかけて貧しさゆえに家庭の娘たちがだまされるなど、さまざまなケースで東南アジアなどへ連れて行かれた事実があり、そのような日本人女性のことからゆきさんと呼んでいる。表現については、当時の複雑な歴史的背景や、さまざまなケースがあるので、今後有識者と相談し、ふさわしい表現にたどり着くように努力したい。

問 島原の防災対策

Q 今回の熊本地震を受けて、本市の防災対策の課題も出たと思うがどうか。

A 被災地では、避難施設の被災で

避難所不足、車での就寝を余儀なくされたことによるエコノミークラス症候群の発症などいろいろな問題がある。熊本地震に対する行政の対応について検証し、本市の地域防災計画の見直しを検討したい。

Q 安心して避難できる避難所体制づくりを工夫していく必要があると思うがどうか。

A 子供連れや高齢者の方など、避難所にはさまざまな方が来られる。避難所開設にあたり、いろんな状況を考え、避難マニュアルの中に入れていきたい。

Q 被災地域に派遣された職員の経験を生かした防災マニュアルの見直しをしようか。

A 支援業務を通じて得た情報は、地域防災計画などに反映させたい。

Q 市内全世帯に配布している防災ラジオの点検は。

A 正午にミュージックサイレンを吹鳴しており、その際に受信確認をお願いしたい。不具合があれば交換等により対応する。

【その他の質問項目】

○みまもりネットワークの取り組みについて

問 防災対策の課題・検証

Q 地震への備えとして活断層の分布を市民に周知しておく必要はないのか。

A 阪神・淡路大震災以降、島原でも活断層の調査が行われており、専門家の知見を集約する必要がある。

Q 熊本地震のような震度の地震が島原半島で発生した場合、対策本部を設置する建物は地震に耐え得るのか。

A 今回は倒壊の恐れが少ない市庁舎別館の市民安全課に対策本部を設置した。また、バックアップ機能として有明庁舎でも対応できる準備を行った。

Q 公民館が避難所になった場合、避難者と行事利用者は、どちらが優先されるのか。

A 災害発生時は避難者を優先すべ



実践クラブ
北浦 守金 議員

問 予算編制の基本方針

Q 厳しい財政状況下、既存の事業を見直さないと予算が膨らむばかりだと思う。市の予算編成の基本方針は。

A 行政経費のスリム化と費用対効果を念頭に、人口減少対策の事業に力点を置いて予算編成を行った。

Q 三会小学校では約三年前から校舎外壁剥離による落下防止ネットが設置されたままである。河川改修では護岸の基礎部分の浸食被害が大きくなる前に改修をお願いしているが、どちらも当初予算に計上されていない。これらは早急な対応が必要ではないのか。

A 子供の安全確保は最優先されるものである。一方で、児童数減少に伴う市内学校施設のあり方を考える必要もあり、今後、公共施設の維持管理については今回の補正予算で対応するが、現場からの情報を得て適切な指示をすべきだったと考えている。

きであり、今後は公民館利用者の方に、その旨を周知していく。